「富富富」情報（第4号）

令和３年７月
ＪＡなのはな「富富富」ブランド化推進協議会

適切な水管理と病害虫防除の励行で高品質な米に仕上げましょう！

「富富富」の生育概況

・近年に比べて、草丈はやや短く、茎数は近年並み～やや多く、葉齢は近年と比べ２日程度遅れています。
・幼穂形成期は、５月１２日頃の田植で７月１３日頃と見られます。

表１　生育状況（7月5日現在）

	草丈（cm）	茎数（本/㎡）	葉齢	葉色
R3	54.8	554	11.0	4.2
近年値	56.6	519	11.3	4.2

※JAなのはな管内 生育調査ほ 5月12日田植え
近年値（H29～R2）

1　穂肥（分施栽培の場合）

幼穂形成期から７日後（幼穂長 15mm 程度）を目安に、穂肥を施用しましょう。

※肥効調節型基肥栽培の場合
原則、追加穂肥は施用しないでください。

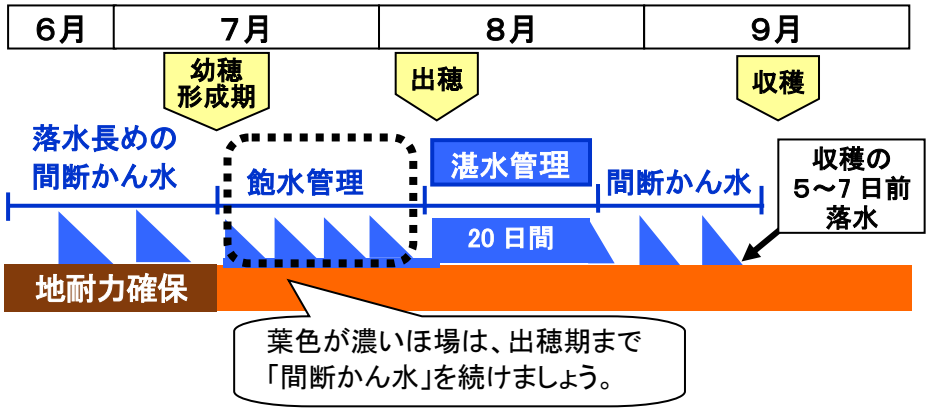
表２　分施栽培の穂肥時期と施用量の目安

	1回目	2回目
	幼穂形成期の7日後（7/20頃）	1回目の7日後（7/27頃）
追肥3号	5～7 kg/10a	10kg/10a

2　水管理

○幼穂形成期以降
稲体の活力を維持するため、飽水管理を行い、足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持しましょう。
○出穂後20日間は、湛水状態を保ちましょう。

図１　水管理のイメージ



3　病害虫防除

病害虫防除は、コシヒカリに準じて実施します。
生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内（殺虫剤、殺菌剤、除草剤あわせて）となるか、必ず確認してください。

表３　防除体系

体系	防除時期	薬　剤　名	成分数	使用量（10a 当たり）	対象病害虫
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤 DL	2	3～4kg	いもち病,カメムシ類,ウンカ類
	傾穂期	スタークル粉剤 DL	1	3kg	カメムシ,ウンカ類
液剤	穂揃期	ラブサイドキラップフロアブル	2	希釈倍数 500 倍 使用液量 150ℓ	いもち病,カメムシ類,ウンカ類
	傾穂期	スタークル液剤 10	1	希釈倍数 1000 倍 使用液量 150ℓ	カメムシ,ウンカ類

※富山県農林水産部「令和３年度 農作物病害虫・雑草防除指針」より一部引用

4　漏生稲や異茎株の抜き取り

定期的にほ場を見回り、異茎株（形態や生育時期等が違う株、図参照）等を抜き取ってください。

稈の長短(抜き上がり)

出穂が早い稲